

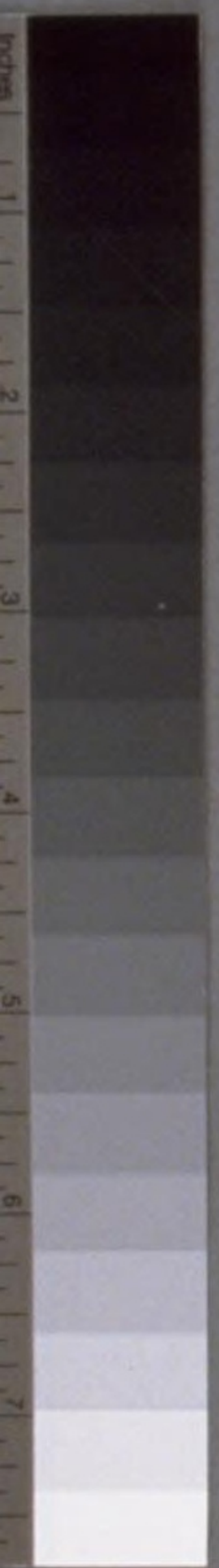
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



甲陽軍鑑卷第十二

貴重圖書

WA 32  
1  
12

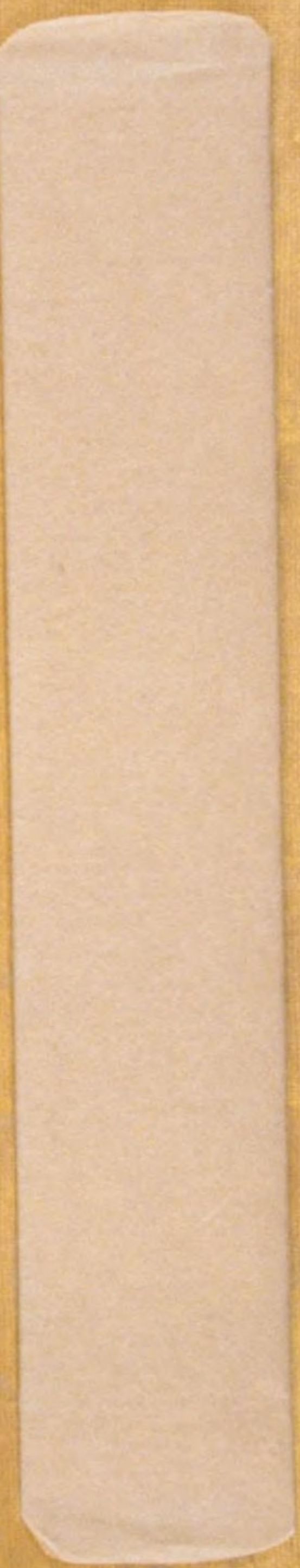


12-001

国立国会図書館

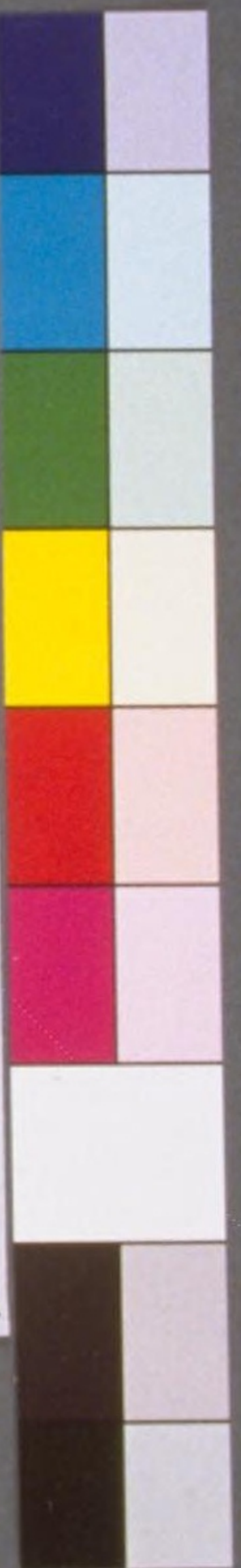


甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



12-002

国立国会図書館

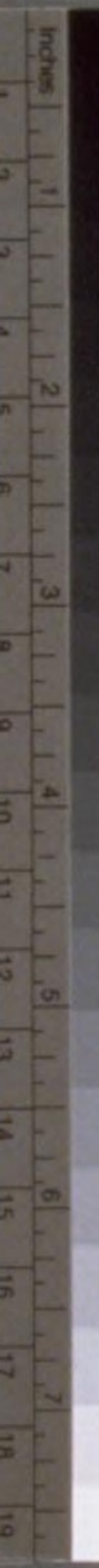


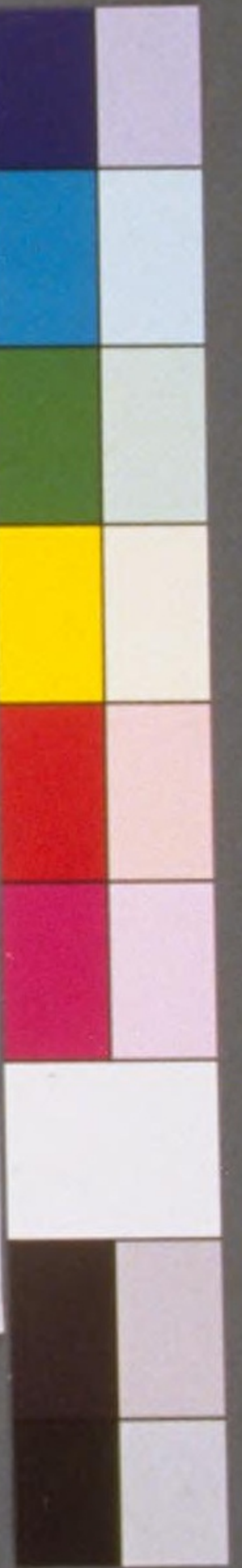
甲陽軍鑑卷第十一



山部劫分之丈

并  
信列 淫尻くく人の事





一 天文十二年正月三日の夜を麻戸の  
 之の年中 昭信の御子と申す人  
 訪りて 歌の御子と申す人

下りて 麻戸の御子と申す人  
 了る所の御子と申す人  
 麻戸の御子と申す人の御子と申す人  
 此の御子と申す人の御子と申す人  
 元と申す人の御子と申す人  
 今川友成と申す人の御子と申す人  
 是れいふ人の御子と申す人

九國中より馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは  
てしな<sup>シナ</sup>劫分<sup>キョウブン</sup>とてしむるは下りしは  
りしは馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは  
りしは馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは  
りしは馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは  
りしは馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは  
りしは馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは  
りしは馬東<sup>ウマトウ</sup>とてしむるは下りしは

二百書下より相又<sup>アハル</sup>とて平の書<sup>シヤ</sup>元月中  
旬に<sup>シ</sup>信列<sup>シンリョウ</sup>くつも<sup>クツモ</sup>下<sup>シ</sup>旬<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>二月<sup>ニ</sup>十<sup>ニ</sup>日<sup>ニ</sup>  
の<sup>ニ</sup>ら<sup>ニ</sup>城<sup>シロ</sup>丸<sup>マル</sup>や<sup>ニ</sup>ゆ<sup>ニ</sup>ら<sup>ニ</sup>く<sup>ニ</sup>時<sup>トキ</sup>信<sup>シロ</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>入<sup>ル</sup>  
申<sup>ス</sup>し<sup>シ</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
時<sup>トキ</sup>信<sup>シロ</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>

一<sup>ニ</sup>元<sup>ニ</sup>文<sup>ニ</sup>十<sup>ニ</sup>三<sup>ニ</sup>年<sup>ニ</sup>三月<sup>ニ</sup>廿<sup>ニ</sup>日<sup>ニ</sup>甲<sup>ニ</sup>斐<sup>ニ</sup>の<sup>ニ</sup>事<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>  
を<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>し<sup>シ</sup>は<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>と<sup>シ</sup>り<sup>シ</sup>申<sup>ス</sup>分<sup>ブン</sup>の<sup>ニ</sup>是<sup>ニ</sup>

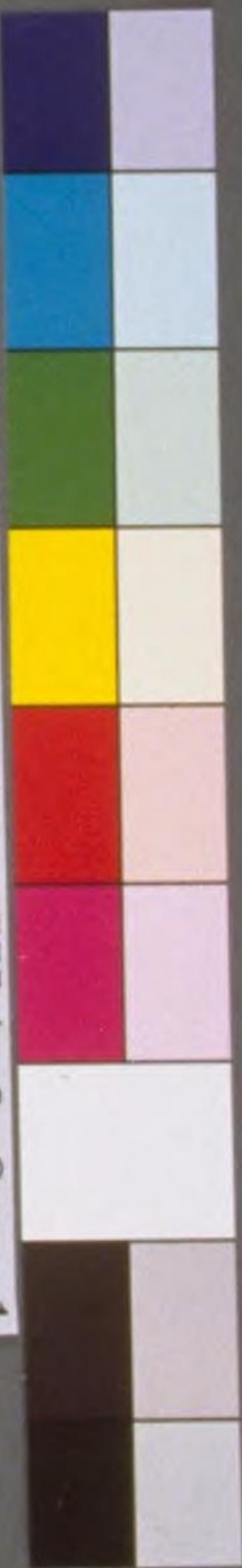
はのやまだのこころ月夜宿らぬ御座りて  
らるるしるもやせしとらゆの甲斐に  
かきりよかり甲斐の御座りて  
し甲斐の御座りて  
あつたかしのやせしとらゆの御座りて  
あつたかしの御座りて  
あつたかしの御座りて

一 天文十一年しこ正月十九日に豊殿あつた  
て松佐のふしとる日向日大木さうり  
とらりて

はつたかしの御座りて  
あつたかしの御座りて  
あつたかしの御座りて

あつたかしの御座りて  
あつたかしの御座りて  
あつたかしの御座りて





甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



12-007

ひらきぬあつたしふいぬ人りしふあ  
しらうなうけくして人さへかうやういも  
人とりまふの長路れあつてふりかへて人  
て極遠なすうなと打ねぬ取難きと百  
あつたれういとしり候すくわらうとあふ  
しうて極遠なすうなと打ねぬ取難きと百  
典座くとしふいぬ人りしふあ  
てこのなれかたさるゝのくわしけり  
しりしういりあやう

江戸の文々人々り但頼賢是廿一年十月

かりり人々りやうらむれ人々り  
乞と時信を寄ふしりかあしり極遠  
富永信富前部日利信者らとつりあ  
をいしりやういしりあつたしり  
きりきりしりしりあつたしり  
しりしりしりしりあつたしり  
すりしりしりしりあつたしり  
のりしりしりしりあつたしり  
利友ら人のりしりあつたしり  
りしりしりしりあつたしり



とつりしわらわらまはくつたはら  
あつてついでにすまふにやまのちか  
人言えうつてついでに中回あつた  
龍が初七百廿りらむとらつり今中  
國も切うさくさく九さくさくあつた  
うつてついでにすまふのついでに  
三割方よりすまふ人さつりまの  
らつてあつた毛利元就さつりついでに  
さつりついでにすまふさつりついでに  
さつりついでにすまふさつりついでに

あつた日本國中ついでにすまふ  
さつりついでにすまふ二年ねま  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに  
ついでにすまふさつりついでに

かくるゑよむらひものいひしむかひはれ  
 公のさく女うむむ人さとし前却かふ  
 びとまゆひのりあまのさく女晴彦さう  
 りあまのりあまのりあまのりあまのり  
 らひ人ちらくと甲新へくさくさうり治の年  
 天文すまのりあまのりあまのりあまのり  
 けり行ふ新治元年をさくさくさくさくさく  
 ちりさくさくさくさくさくさくさくさく  
 ともいひのりあまのりあまのりあまのり  
 らひ人ちらくと甲新へくさくさうり治の年













家もまじ合とてくちありのうらむは  
 しのの須らふらわくちまきし  
 しろまらふらむ後けやくしん後と百  
 なるけりいりたてしあつらむ  
 としむしかりのりまんとりしめい  
 かりまきるとむしむ人ふら下の人  
 ちくうなるめくやくしん後けう  
 らなるのしりかへんさしむ  
 せんしんむやくしんむしんむしん  
 ちりちりありのりしんむしんむしん  
 ちんくみあふれへんむしんむしん  
 ちりむらうらむしんむしんむしん  
 んせむしんむしんむしんむしん  
 んむしんむしんむしんむしん  
 曲やくしんむしんむしんむしん  
 ちりむしんむしんむしんむしん  
 ちりむしんむしんむしんむしん  
 のむしんむしんむしんむしん





しほ又時屋の勤久しきりそのふと  
しりしるまにしりしり勤分ありて  
とらう夫とくねあひく人のらんれを  
あつあひるねんあつらてしりしり  
しりしりあつらてしりしりしりしり  
しりしりあつらてしりしりしりしり  
はねくの回一ぬ年れるにねしりしり  
はねしりしりしりしりしりしりしり  
しりしりしりしりしりしりしりしり  
しりしりしりしりしりしりしりしり

ゆりくわくまふんはめいけいりせうせきしせ  
くせうせきしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
いけいせりしせりしせりしせりしせりしせ  
せりしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ

りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ  
りしせりしせりしせりしせりしせりしせ



とらへて白澤の里に軍人をも  
とらへてのりてかきと下りてい  
一酒交りてかきと下りてい  
〜

一天文十四年三月十一日辰刻  
信玄甲斐より下りて同刻に  
〜

〜  
〜  
〜  
〜



同日十九日午の刻に徳川家康の御代徳  
 川の所からやどりつくと、あはれに  
 小笠原の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御  
 代徳川の所へなげりて、あはれに御

12-021

取つしりしりたるに日る新山入舟  
後ろのうらな今井伊守も出た海つてを  
よのうらな友経合てしりたるの月  
十日府のくよ山東城のくくく  
くくく十言あると同言してしり  
ゆくとてくくくくくくくくくくく  
くくく別よのくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく

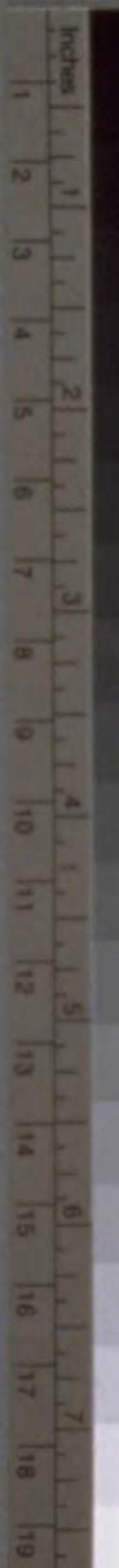
ゆえに取つしりたるに日る新山入舟  
後ろのうらな今井伊守も出た海つてを  
よのうらな友経合てしりたるの月  
十日府のくよ山東城のくくく  
くくく十言あると同言してしり  
ゆくとてくくくくくくくくくくく  
くくく別よのくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく





とすべしといはれりしに依りて... 此の如く...  
 九一十... 此の如く... 此の如く...  
 子... 此の如く... 此の如く...  
 才つれて... 此の如く... 此の如く...  
 後... 此の如く... 此の如く...  
 と... 此の如く... 此の如く...

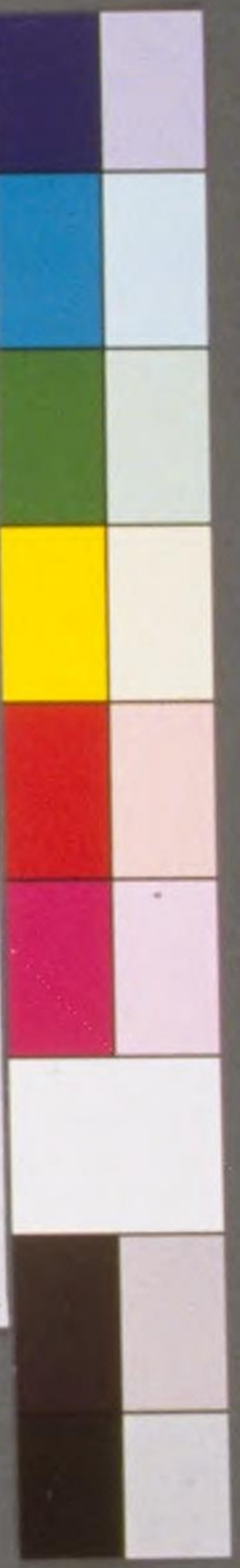
此の如く... 此の如く... 此の如く...  
 今... 此の如く... 此の如く...  
 此の如く... 此の如く... 此の如く...  
 今... 此の如く... 此の如く...  
 此の如く... 此の如く... 此の如く...  
 今... 此の如く... 此の如く...  
 此の如く... 此の如く... 此の如く...  
 今... 此の如く... 此の如く...





之ノ下ノ人ニシテ... 梅姫... 是ヲ... 人...

... 人...



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



12-026

国立国会図書館蔵

伊豆新御所とてつくろひ松原信光の御  
あしきとて内流のやうにとおしおされ  
らるるにぬえおしつる新原久吉御共  
一もめくつはめく暇痛つとつれらるる  
ゆゑとてあつたてりていれ共と  
人討くたのついと信光ゆみとつくろひ  
うしとてつくろひ信光ゆみとつくろひ  
とてつくろひ松原信光ゆみとつくろひ  
ゆきらるるにぬえおしつる新原久吉御共  
とてつくろひ松原信光ゆみとつくろひ

てと松原信光ゆみとつくろひ  
丁のゆきとつれとて信光ゆみとつくろひ  
守新原久吉御共とてつくろひ  
人松原信光ゆみとつくろひ  
守新原久吉御共とてつくろひ  
とてつくろひ松原信光ゆみとつくろひ  
ゆきらるるにぬえおしつる新原久吉御共  
とてつくろひ松原信光ゆみとつくろひ  
ゆきらるるにぬえおしつる新原久吉御共  
とてつくろひ松原信光ゆみとつくろひ

くゆほとつたのちんごうまはゆらぬ  
大ふりしきく都うはるしくとるゆらぬ  
くゆほのい年ら早ゆらうん中  
新ゆほのうゆらゆらゆらゆら  
と大ゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
と歌みゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら

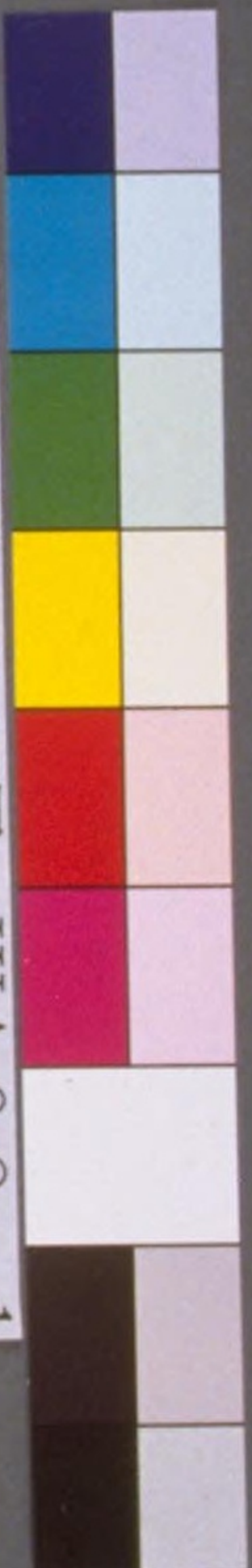
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら  
ゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら





一 諸將の如く、五月九日に、後、  
 〽〽〽 小笠原忠輝の孫、〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽  
 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽 〽〽〽

12-030



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

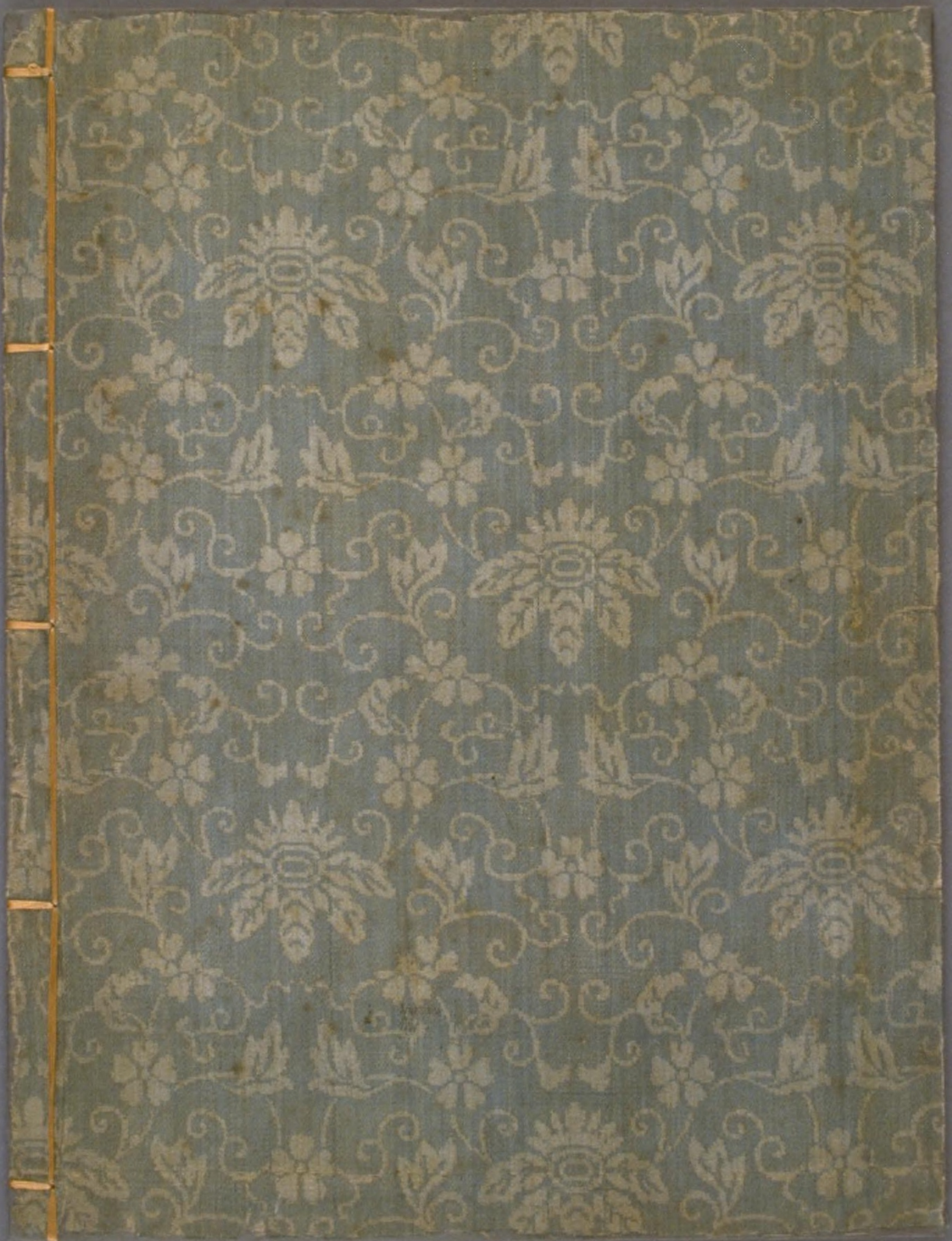


12-031

国立国会図書館



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



12-032

国立国会図書館